



Mercury-LAVIS

土地情報管理システム【マーキュリーラヴィス】

セットアップガイド

新規導入編

Mercury-LAVIS を新規にセットアップする手順を解説します。

1. セットアップの前に	2
1-1. プロテクトを確認して準備します	2
1-2. インストール方法を決めます	2
1-3. セットアップに進みます	3
2. プログラムの新規インストール	4
2-1. ネット認証(占有) + スタンドアロン	4
2-2. ネット認証(占有) + サーバークライアント	8
3. プログラムの起動	16
3-1. 「管理者ツール」の起動	16
3-2. 「管理プログラム」の起動	18
ネット認証ライセンス(占有)の場合の、プロダクトID認証の手順	18
3-3. FCコンシェルジュの登録	20
[補足] ネット認証(占有)の解除方法	21
[補足] ネット認証(占有)の自動認証/解除の設定方法	22
[補足] ネット認証ライセンスのQ&A	23
[補足] 起動時にプロテクトの選択画面が表示された場合は	24
[補足] FCコンシェルジュとは	25

1 セットアップの前に

1-1. プロテクトを確認して準備します

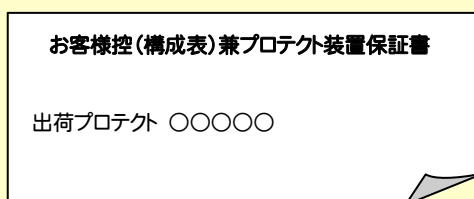
Mercury-LAVIS のプロテクトには、次の1種類です。
同梱の「ネット認証ライセンス証書」を準備します。

● ネット認証ライセンス(占有)

同梱の「ネット認証ライセンス証書」を準備します。



※ プロテクトタイプは、同梱の「お客様控(構成表)兼プロテクト装置保証書」に記載されています。



1-2. インストール方法を決めます

インストール方法には、次の2種類があります。
ご使用になる環境に合ったインストール方法を選択します。

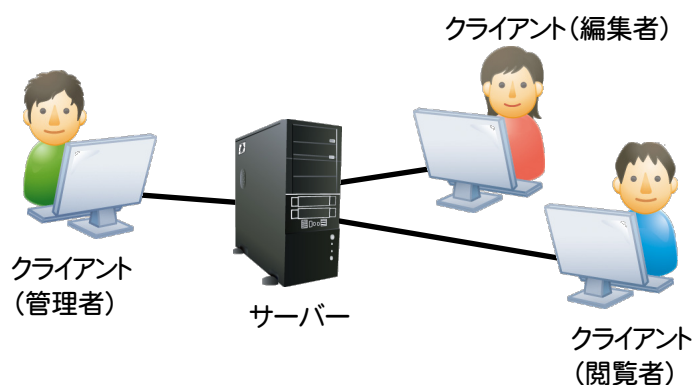
● スタンドアロン

- すべてのファイルを、1台のコンピューターにインストールします。
- 1台のコンピューターで、地籍データを編集します。



● サーバークライアント

- 地籍データを、サーバーで管理します。
- 複数のクライアントで、地籍データを編集します。



1-3. セットアップに進みます

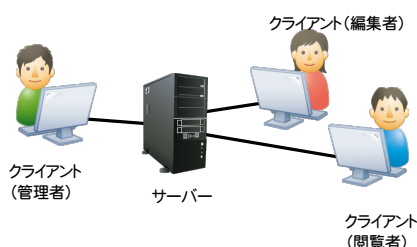
「プロテクト」の準備と「インストール方法」の選択を終えたら、各セットアップの手順に進みます。

● ネット認証ライセンス(占有) + スタンドアロン



P.4へ

● ネット認証ライセンス(占有) + サーバークライアント



P.8へ



Check

セットアップの前に確認してください

- セットアップするには、「コンピューターの管理者 (Administrators)」のアカウントでサインイン (ログオン) している必要があります。
- お使いのウイルス対策アプリによっては、セットアップ時に警告メッセージが表示される場合があります。このような場合には、ウイルス対策アプリなどの常駐プログラムを一時的に終了してから、セットアップをおこないます。
- セットアップやアンインストールをおこなう場合は、必要なデータは必ずバックアップしてください。バックアップの手順については、各ヘルプ、またはマニュアルをご覧ください。お客様が作られたデータはお客様にとって大切な財産です。万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様御自身の管理・責任において、データは必ず定期的に2か所以上の別の媒体 (HDD、CD、DVD など) に保存してください。また、いかなる事由におきましても、データの破損により生じたお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。

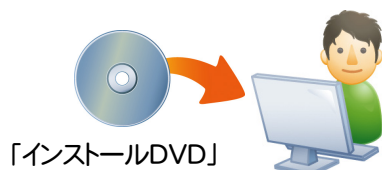
2 プログラムの新規インストール

2-1. ネット認証ライセンス(占有) + スタンドアロン

「ネット認証ライセンス(占有)」+「スタンドアロン」の、新規インストール手順です。

Step1 | SQLServer インストール

1. コンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面の[Mercury-LAVIS]ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

[スタンドアロン]タブを選択します。



- [① SQLServer インストールアシスト]ボタンを押します。



インストールアシストが不要な場合があります

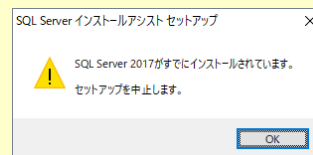
※ コンピューターに、既に製品版の「SQLServer」がインストール済みの場合は、「インストールアシスト」でSQLServerをインストールしないでください。

6ページ「Step2」へ進んでください。

※ 「インストールアシスト」でSQLServerをインストールする必要がない場合は、「セットアップ(インストール)を中止します。」とメッセージが表示されます。

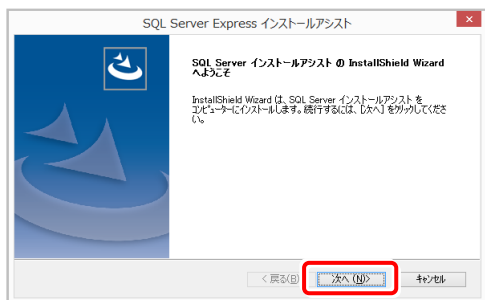
6ページ「Step2」へ進んでください。

メッセージ例

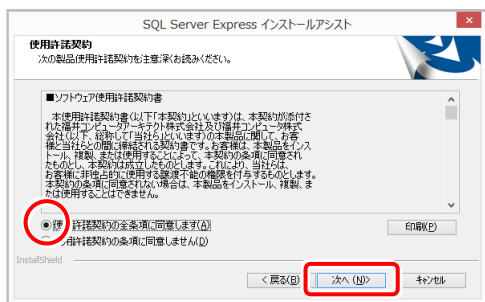


3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。

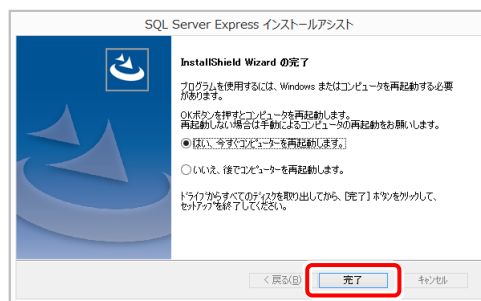
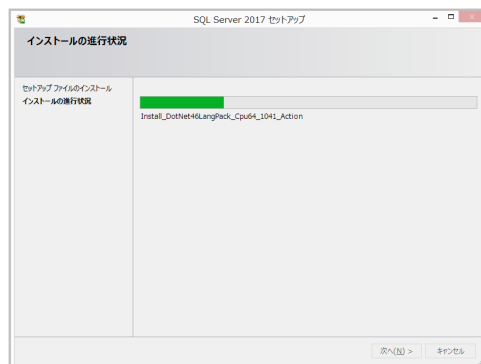
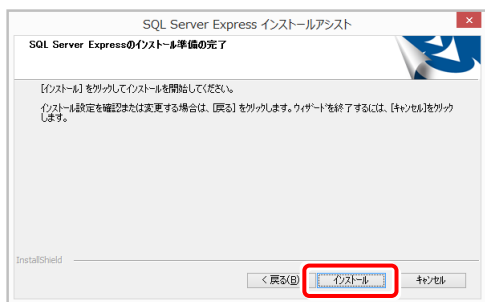
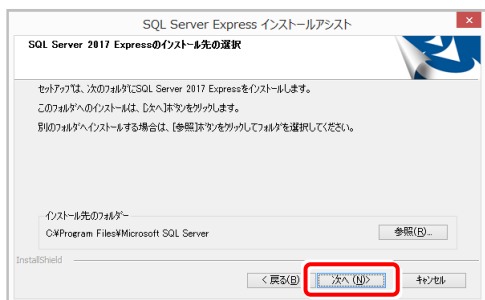
- ※ 画面は、環境によって異なる場合があります。
- ※ インストールには時間がかかる場合があります。



[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



プログラムのインストール先を確認して次へ進みます。



※ 再起動が必要なメッセージが表示された場合は、メッセージに従って再起動してください。



(次ページ「Step2」へ進みます)

Step2 | Mercury-LAVIS インストール

1. セットアップ画面の[② Mercury-LAVIS]ボタンを押します。



2. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



[上記の全条項に同意します]をチェックして、[次へ]を押します。



コンピューターの時計とインストール先フォルダーを確認します。必要があれば、変更してください。



[プロテクト]が「ネット認証ライセンス:(占有)」であることを確認して、[次へ]を押します。



プロテクトが「ネット認証ライセンス:(占有)」以外になっている場合は [「プロテクト」タイプを変更する] ボタンから表示されるダイアログで、「ネット認証」の「占有」を選択します。



内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

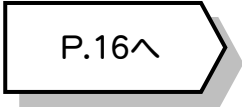
ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-LAVIS が正常に動作しない場合があります。
誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」ボタンから表示される資料を参考にしてください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。
再起動が必要な場合は、再起動します。



プログラムの新規インストールは完了です。
続いて 16ページ「3. プログラムの起動」に進みます。



2-2. ネット認証(占有) + サーバークライアント

「ネット認証ライセンス(占有)」+「サーバークライアント」の、新規インストール手順です。

まずサーバーで

「Step1 | SQLServer インストール」

「Step2 | Mercury-LAVIS サーバークライアント」をおこないます。

次にクライアントで

「Step3 | Mercury-LAVIS クライアントインストール」をおこないます。

まず、サーバーにプログラムをインストールします

Step1 | SQLServer インストール

1. サーバーに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面の[Mercury-LAVIS]ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

[サーバークライアント]タブを選択します。



[① SQLServer インストールアシスト]ボタンを押します。



(次ページへ続きます)

インストールアシストが不要な場合があります

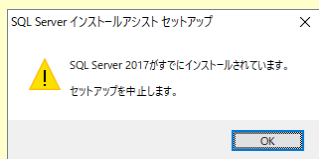
※ サーバーに、既に製品版の「SQL Server」がインストール済みの場合は、「インストールアシスト」でSQL Serverをインストールしないでください。

10ページ「Step2」へ進んでください。

※ 「インストールアシスト」でSQL Serverをインストールする必要がない場合は、「セットアップ(インストール)を中止します。」とメッセージが表示されます。

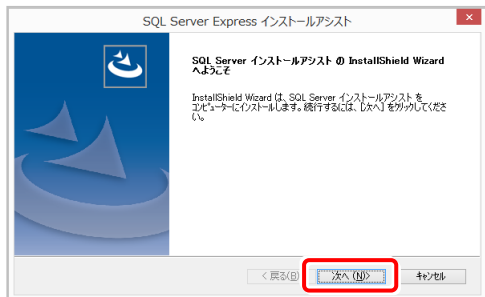
10ページ「Step2」へ進んでください。

メッセージ例

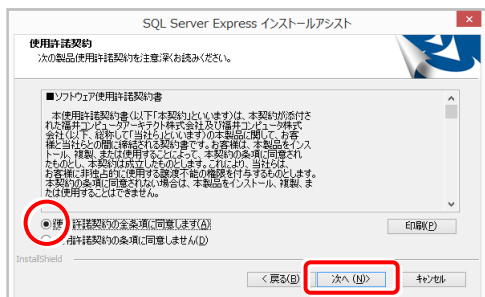


3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。

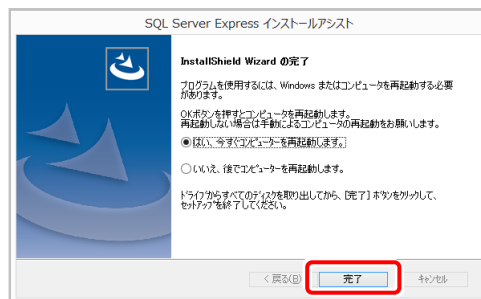
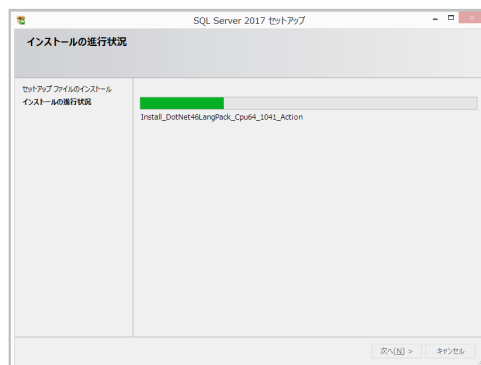
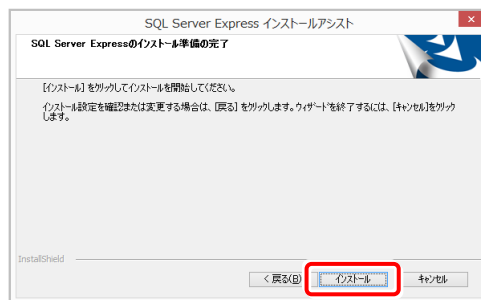
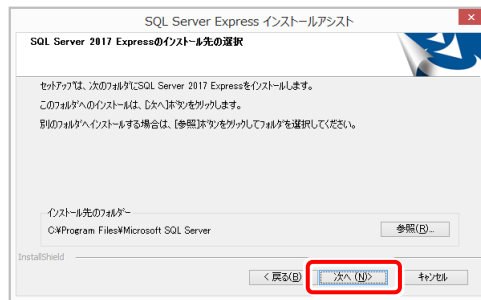
- ※ 画面は、環境によって異なる場合があります。
- ※ インストールには時間がかかる場合があります。



[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



プログラムのインストール先を確認して次へ進みます。



※ 再起動が必要なメッセージが表示された場合は、メッセージに従って再起動してください。

(次ページ「Step2」へ進みます)

Step2 | Mercury-LAVIS サーバインストール

1. サーバーで、セットアップ画面の
[② Mercury-LAVIS サーバインストール] ボタン
を押します。



2. インストール環境の確認画面が表示されます。
すべての項目を確認してチェックしてから、[次へ] ボタン
を押します。



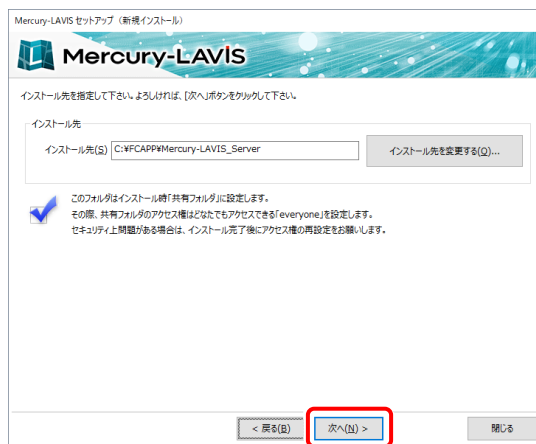
表示される画面に従って、インストールを進めます。



[上記の全条項に同意します]をチェックして、[次へ]を
押します。



プログラムのインストール先を確認して次へ進みます。



(次ページへ続きます)

データの保存先を確認して、[次へ]を押します。



「インストール先」と「データ保存先」のフォルダーは「共有フォルダー」になります

サーバーの「インストール先」と「データ保存先」のフォルダーは、「共有フォルダー」になりますので、確認してください。(Everyone フルコントロール)

内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-LAVIS が正常に動作しない場合があります。誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。
再起動が必要な場合は、再起動します。



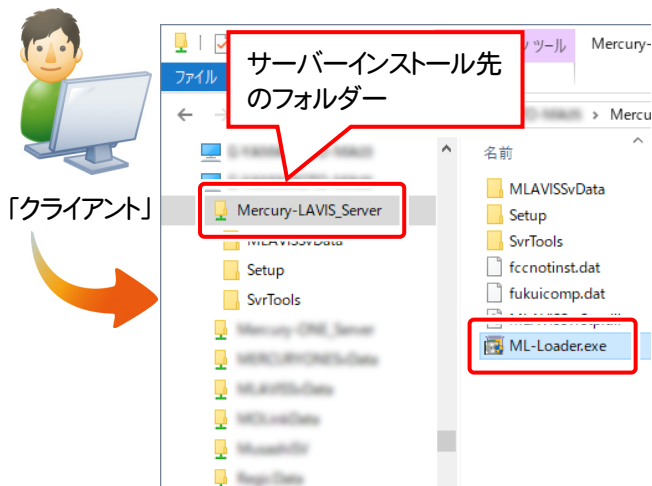
(次ページ「Step3」へ進みます)

次に、クライアントにプログラムをインストールします

Step3 | Mercury-LAVIS クライアントインストール

1. クライアントで、エクスプローラーを開きます。

「ネットワーク」をクリックしてサーバーを参照し、サーバーインストール先のフォルダーにある、「ML-Loader.exe」を実行します。



2. インストール環境の確認画面が表示されます。

すべての項目を確認してチェックしてから、「次へ」ボタンを押します。



表示される画面に従って、インストールを進めます。



[上記の全条項に同意します]をチェックして、「次へ」を押します。



(次ページへ続きます)

コンピューターの時計とインストール先フォルダーを確認します。必要があれば、変更してください。



[プロテクト]が「ネット認証ライセンス:(占有)」であることを確認して、[次へ]を押します。



プロテクトが「ネット認証ライセンス:(占有)」以外になっている場合は

「[プロテクト]タイプを変更する」ボタンから表示されるダイアログで、「ネット認証」の「占有」を選択します。



サーバー名を確認して次へ進みます。



内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。プログラムのインストールが開始されます。



(次ページへ続きます)

2. プログラムの新規インストール： ネット認証(占有) + サーバークライアント

インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-LAVIS が正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について](#)」ボタンから表示される資料を参考にしてください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動します。



プログラムの新規インストールは完了です。

続いて 16ページ「3. プログラムの起動」に進みます。

P.16へ

－ メモ －

3 プログラムの起動

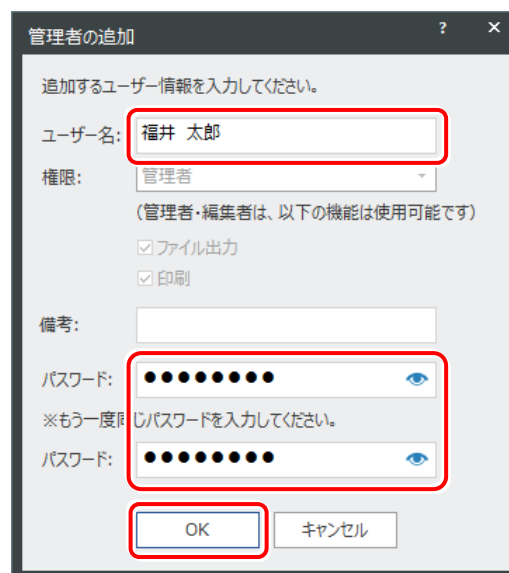
3-1. 「管理者ツール」の起動

Mercury-LAVIS を使用するには、まず管理者の方が「管理者ツール」を起動して、管理者や使用するユーザーを登録する必要があります。（※ 管理者以外の方は、18 ページ「3-2. 「管理プログラム」の起動」にお進みください。）

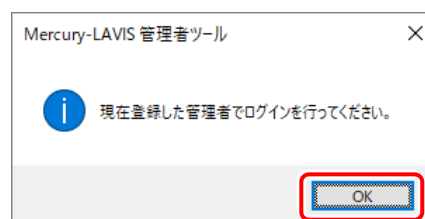
1. デスクトップの[Mercury-LAVIS 管理者ツール]のアイコンをダブルクリックして起動します。



2. 管理者の[ユーザー名]と[パスワード]を入力して、[OK]をクリックします。



3. 確認メッセージの[OK]をクリックします。



4. 先ほど登録した管理者の[ユーザー名]と[パスワード]を入力して、[SignIn]をクリックします。



(次ページへ続きます)

3-2. 「管理プログラム」の起動

管理者と使用するユーザーの登録を終えたら、「管理プログラム」を起動します。

1. デスクトップの[Mercury-LAVIS 管理プログラム]のアイコンをダブルクリックして起動します。



2. ライセンスの確認がおこなわれます。

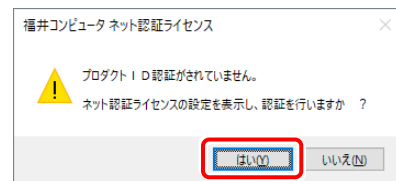
● **プロダクトID認証のメッセージが表示された場合**

ネット認証ライセンス(占有)を使用する場合は、[はい]を押します。

続いて下記手順を参照し、ネット認証ライセンスのプロダクトIDを認証します。

※ 認証の際は、インターネットに接続されている必要があります。

※ 他のプロテクトを使用する場合は、[いいえ]を押します。



● **【プロテクト設定】画面が表示された場合**

使用するプロテクトを選択して、[OK]を押します。

※ どれを選択すればいいかわからない場合は、本書の 24ページを参照してください。



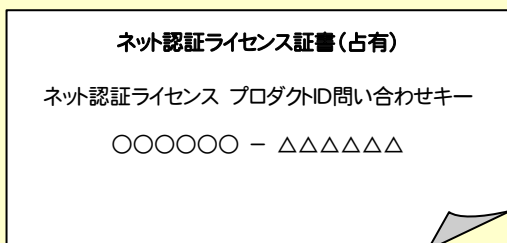
ネット認証ライセンス(占有)の場合、プロダクトID認証の手順

※ ネット認証ライセンス(占有)のお客様のみ、おこなってください。

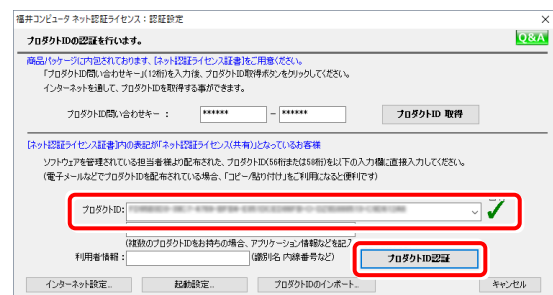
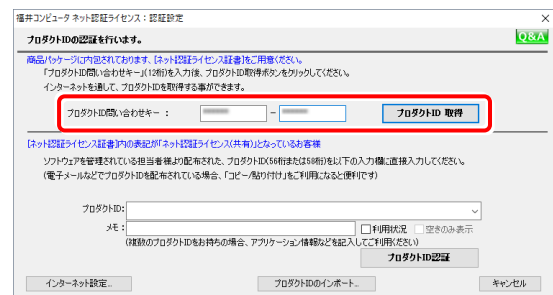
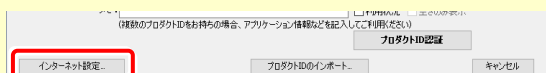
[プロダクトID問い合わせキー]を入力して、[プロダクトID取得]ボタンを押します。

[プロダクトID]が取得されたのを確認したら、[プロダクトID認証]ボタンを押します。

[プロダクトID問い合わせキー]は 6桁+6桁 です。
送付される「ネット認証ライセンス証書(占有)」に記載されています。



※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



(次ページへ続きます)

「ライセンスの認証と解除の設定」画面が表示されます。
 お客様のご利用環境に合わせて、「自動認証時の設定」と
 「自動解除時の設定」を設定してください。

自動解除は、以下の様な使用方法の時に設定します

事務所内など、常時インターネット接続が可能な環境で使用しており、

- 複数人でライセンスを使用する場合。
- 他のコンピューターでもライセンスを使用する場合。
- 商品構成の異なるプロダクトIDを、都度切り替えて使用する
場合。

※ 自動解除の設定は、お客様のご判断でご使用ください。

選択を終えたら、[OK]ボタンを押します。

利用者情報を入力して登録してください。

【利用者情報】は、プロダクトIDの利用状況(誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等)を確認する際に利用されます。

内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。

ネット認証ライセンス(占有)のプロダクトIDが認証されます。

続いて 次ページ **3.** の手順に進みます。

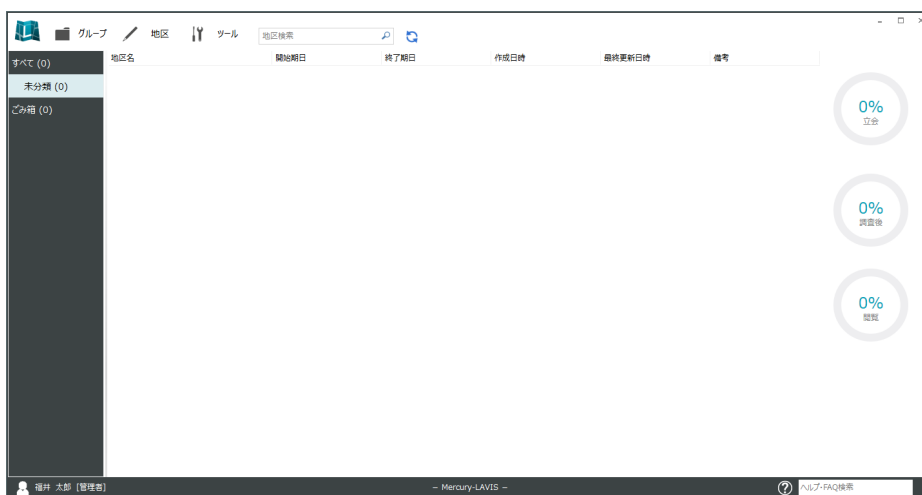
3. プログラムの起動

3. 「管理者ツール」で登録した[ユーザー名]と[パスワード]を入力して、[SignIn]をクリックします。



4. 「管理プログラム」が起動します。

管理プログラムでは、地籍調査をおこなう地区データを管理します。



3-3. FCコンシェルジュの登録

FCコンシェルジュのユーザー登録をおこなうと、福井コンピュータグループが提供する各種WEBサービスをご利用いただくことができます。

※ FCコンシェルジュのご利用には、インターネットに接続できる環境が必要です。

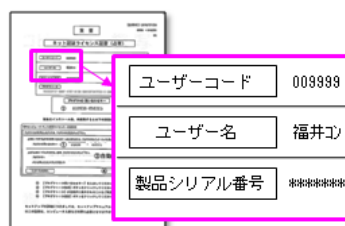
起動時に、FCコンシェルジュのユーザー登録画面が表示された場合は、必要事項を記入してユーザー登録をおこなってください。

登録が完了すると、「FCコンシェルジュ」が利用可能になります。

既にFCコンシェルジュでユーザー登録されている場合は、登録ユーザーの一覧が表示されます。使用するユーザーを選択すると、「FCコンシェルジュ」が起動されます。

※ 登録時に「ユーザーコード」と「製品シリアル」の入力を求められた場合は、右図を参照してください。

●製品に同梱されているネット認証ライセンス証書

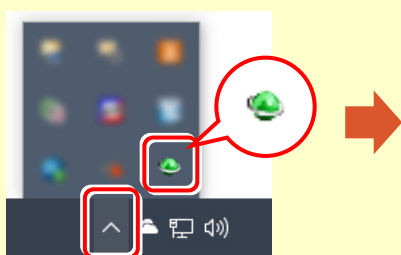
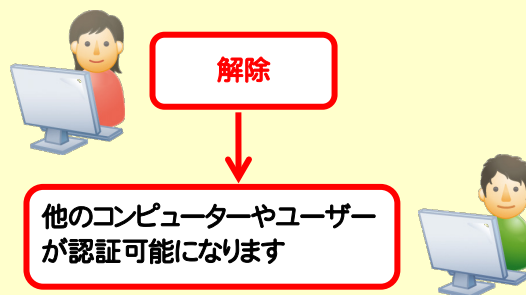


以上で Mercury-LAVIS の新規導入は **完了** です。

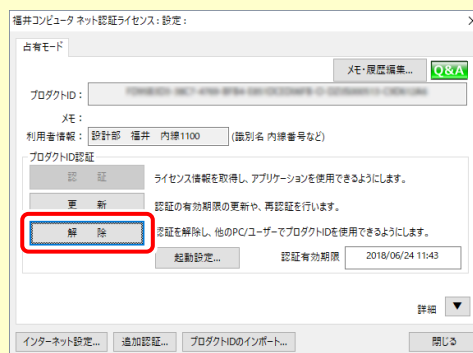
[補足] ネット認証(占有)の解除方法

同じネット認証ライセンス(占有)を、他のユーザーまたは他のコンピュータで使用したい場合は、ネット認証を解除する必要があります。

手動でネット認証ライセンスを解除する場合は、以下の手順で解除してください。



画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCネット認証ライセンスセンター」を起動します。

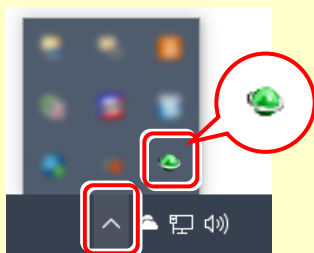


ネット認証ライセンスの設定画面が表示されます。
[解除]を押すとネット認証が解除されます。

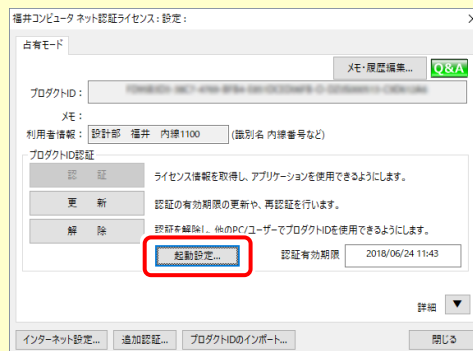
【補足】 ネット認証(占有)の自動認証/解除の設定方法

現在設定されているネット認証ライセンス(占有)の自動解除と自動認証の設定を変更したい場合は、以下の方法で設定を変更します。

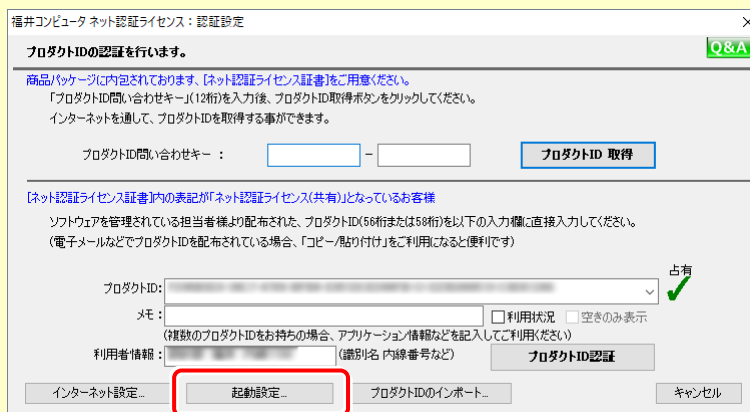
画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCネット認証ライセンスセンター」を起動します。



「起動設定」を押します。



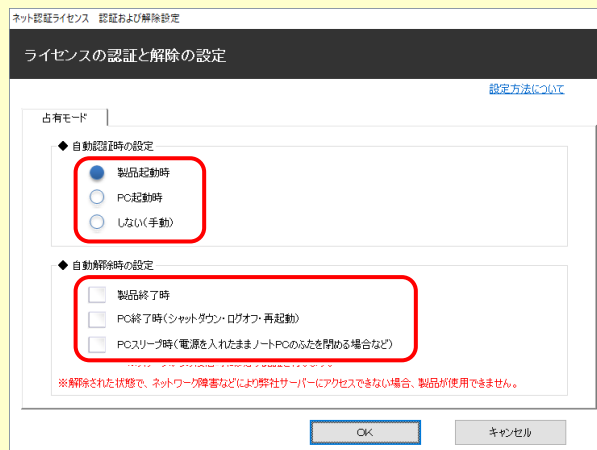
または



「自動認証時の設定」と「自動解除時の設定」を変更します。変更後、[OK] ボタンを押してください。

注意： ネット認証の際には、インターネットに接続されている必要があります。

インターネットに接続できない現場などに持ち出す場合は、自動解除を設定しないでください。(すべてのチェックをOFF)
また現場に持ち出す場合は、事前にネット認証を済ませておいてください。



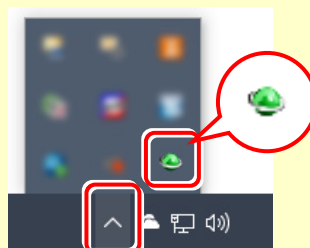
[補足] ネット認証ライセンスのQ&A

ネット認証ライセンスの設定画面からネット認証ライセンスの Q&A を開くことができます。

Q&A には、ネット認証ライセンスの機能やお問い合わせのあった内容について記載されています。

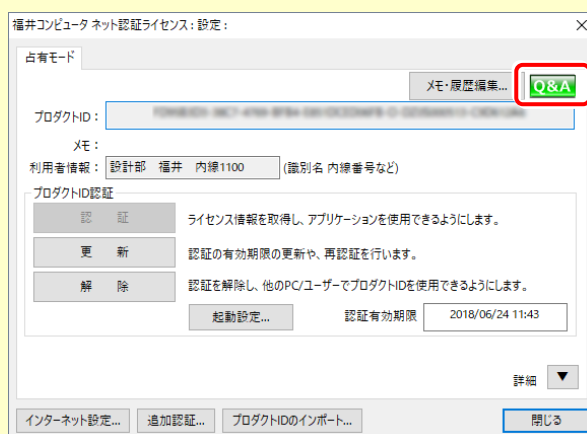
開き方

1. 画面右下のタスクバーの通知領域に表示される「ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックして、ネット認証ライセンスの設定画面を開きます。

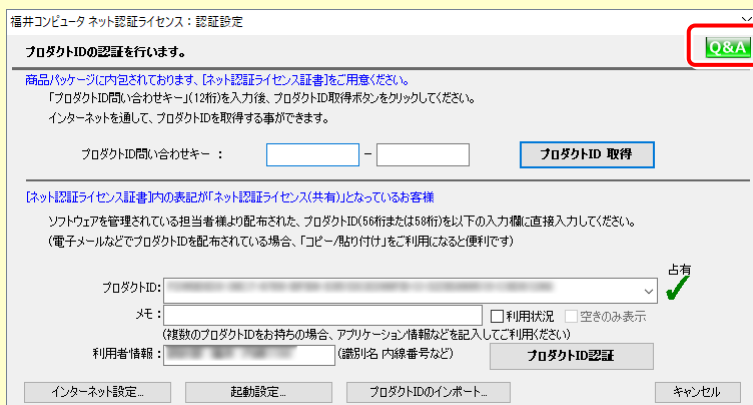


2. ネット認証ライセンスの設定画面が表示されます。[Q&A] ボタンを押します。

ネット認証ライセンスの Q&A が開きます。

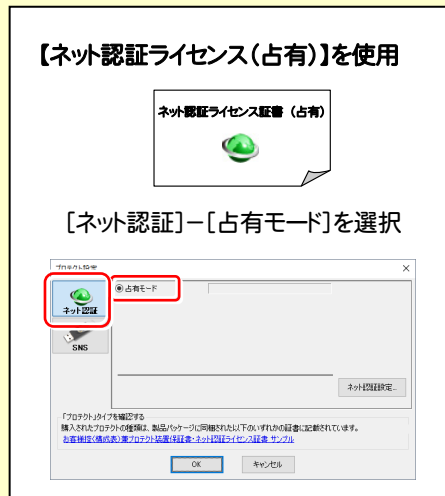


または

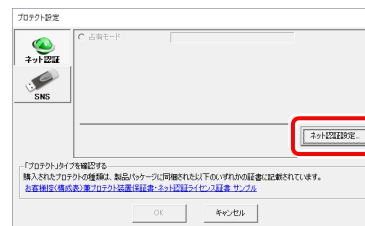


【補足】 起動時にプロテクトの選択画面が表示された場合は

お使いのプロテクトを選択し、[OK]ボタンを押してください。（プログラムによって、画面が異なる場合があります）



[ネット認証]のモードが選択できない場合は、[ネット認証設定]ボタンを押して、ネット認証ライセンスの Produk IDを認証してください。



【補足】 FCコンシェルジュとは

「FCコンシェルジュ」に登録していただくと、以下のようなサービスが受けられます。

- ご利用の製品に関する、最新の情報をお知らせいたします。
- ご利用の地域でおこなわれる、イベントやセミナーの情報をお知らせいたします。
- 最新のプログラムに更新することができます。

※ すべての機能を利用するには、インターネット接続環境が必要です。

※ 画面は予告なく変更される場合がございます。



「FCコンシェルジュ」を起動させるには

デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCコンシェルジュ」を起動します。

